

総務文教部会報告書



子どもたちに夢と希望を

文化・芸術の町へ



地域ごとに世代間交流を



総務文教部会

目 次

1	構成委員.....	1
2	会議の経過.....	1
3	まちづくり町民会議総務文教部会の概要.....	2
	まちの活性化について.....	2
	人づくり・地域コミュニティについて.....	3
	交通手段・足の確保について.....	3
	広報広聴について.....	3
	パークゴルフについて.....	3
	行財政について.....	4
	芸術・歴史・伝統文化について.....	4
	スポーツ・研修体験施設について.....	5
	子どもたちとのふれあい・関わりについて.....	5
	生涯学習全般について.....	6
	学校教育について.....	7
	その他.....	7
	(1)子育て保育所について.....	7
	(2)除排雪について.....	7
	(3)商店街活性化について.....	7

1 構成委員

総務文教部会の構成委員は次のとおりです。

氏名	住所	備考
貝森 司	幕別町札内桂町 566 - 95	部長
森 徹	幕別町忠類幸町 380 - 18	
内山 美穂子	幕別町札内北町 130 - 1	
喜多 仁	幕別町札内青葉町 10 - 3	
柿崎 俊男	幕別町緑町 5 - 106	
筒淵 健司	幕別町札内あかしゃ町 56-39	
細澤 正典	幕別町忠類栄町 369-13	

2 会議の経過

区分	開催日	場所	テーマ
第1回ワ キング部会	平成18年12月14日	百年記念ホール	○部会に分かれて幕別の問題 点・長所・短所などを洗い出 す。
第2回ワ キング部会	平成19年1月22日	百年記念ホール	○パークゴルフ ○キャンプ場・宿泊施設 ○少子化・子育て
第3回ワ キング部会	平成19年2月5日	百年記念ホール	○学校関係 ○地域活動 ○子どもとのふれあい
第4回ワ キング部会	平成19年2月19日	百年記念ホール	○公区での取り組み ○文化・伝統・芸術 ○転入者への配慮
第5回ワ キング部会	平成19年3月12日	百年記念ホール	○人口問題 ○子育て ○大学誘致
第6回ワ キング部会	平成19年3月26日	百年記念ホール	○協議の集約 ○報告書の作成

3 まちづくり町民会議総務文教部会の概要

【総評】

総務文教部会が検討した中で、常に話題の中心となったのが、子どもたちに対する熱い思いでした。子どもたちが生き生きと生活することができ、様々な学習ができ、幕別のよさを体感し、感動的なふれあいや体験をとおして、次世代を担う素晴らしい大人になっていくことを願う気持ちです。そのためには、高齢者の方々をはじめ、様々な場面で大人たちが活躍し、どの年代も一体となって地域ぐるみで人のネットワークづくりや協力体制を確立していくことが望ましいとされました。

また、幕別町には、伝統・文化・芸術・音楽などの部門において素晴らしい技術を持ち、様々な場面で活躍をされている方が多いことがわかり、それらの方々のネットワークづくりや、町内外に広く紹介する場面の提供などを考えて欲しいと思います。

一方、高齢者の方々や、ハンディを背負っているの方々には、地域ぐるみで助け合うことを実践していくとともに、地域でできることは地域で、個人でできることは、個人で行っていく、住民が自立したまちづくりを目指すことも大切であると考えます。

これからは、箱物や道路などに重点を置くのではなく、既存の施設を最大限利用しながら、「人」を大切に「心」のかよったまちづくりをすることで、誰もが住んでみたくなるような魅力的で、輝きのある美しい幕別町をつくっていくことが必要であると思われまます。詳細は次のとおりです。

まちの活性化について

[優位的現況・長所]

- ・ 忠類地域では、合併によって忠類地域の活性化やイベントなどに対する結集力が増し、積極的な行動が増えてきている。
- ・ 転入者による新しい発想が生まれている。(シーニックカフェなど)まちづくりには新しい息吹も大切
- ・ 道の駅周辺、ナウマン象記念館と公園施設は素晴らしい。

[問題点・課題]

- ・ 人口が減少に転じてきている
- ・ 地域的に新規移住を拒む傾向がある。
- ・ 大型ショッピングセンター誘致の法的な縛り。
- ・ 市街地の三極化、三地域の一体感の醸成、均衡ある発展

[施策・方向性]

- ・ 幕別本町地区・忠類地区の定住促進(公営住宅建設・宅地分譲・民間アパート)
- ・ 人口減少、少子化対策として低価格の分譲
- ・ 人口を増やすプロジェクトをつくる。(税収の増)
- ・ 本町に宿泊施設の建設。(企業・大学の合宿誘致)
- ・ 都会人の移住希望者をターゲットにする。農村部の景色のいい場所の分譲
- ・ 移住者と地域の人とも仲良くやっていく閉鎖的でない前向きな体制づくり。
- ・ 大型ショッピングセンター誘致(雇用の拡大、人口の増加、買い物の利便性、税収の増、建設業が潤う。)
- ・ 国道沿い千住付近の商業地開発
- ・ 若者が住みたくなるまちづくり。

- ・子どもたちが懐かしむ町、いい思い出となる町であって欲しい。
- ・帯広市に職場のある若い人たちが住んでみたい、家を建ててみたいと思えるような魅力的なまちづくり。

人づくり・地域コミュニティについて

[優位的現況・長所]

- ・協働のまちづくりは徐々に浸透してきている。

[問題点・課題]

- ・地域や個人、団体でできることは自分たちでする意識がない人の対策。

[施策・方向性]

- ・アダプトプログラム（公園や道路の管理の里親制度）の実践。
- ・地域コミュニティの存続（防災・商店街・消防団）
- ・Uターン者のネットワークの構築
- ・箱物ではなく、人づくりが重要、人のネットワークづくりを。
- ・自分たちでできることは自分たちで行う。
- ・地域防災意識の高揚と体制づくり

交通手段・足の確保について

[問題点・課題]

- ・町民バスの運転は高齢者だと心配

[施策・方向性]

- ・町民バスは民間がやれるのでは（年間バスの販売）

広報・広聴について

[問題点・課題]

- ・公職者の名前が分からない。（民生委員が誰なのか、社会教育委員が誰なのか）
- ・札内地区の住民には忠類についての情報がほとんど伝わっていないので同じ町になったという実感がない。
- ・幕別にあって忠類にないもの、忠類にあって幕別にないものが見えない。（情報の提供）

[施策・方向性]

- ・公職者の名簿を広報紙での掲載、及び近隣センター等に掲示する。
- ・合併して相互の情報提供として町民見学会など積極的に展開。
- ・釧路で行っているような、住民にインスタントカメラをリレー方式で配り、町の素晴らしいところを写してもらおうなどの事業を実施（まちの素晴らしさの再発見）

パークゴルフについて

[優位的現況・長所]

- ・発祥の地として世界に誇るレクリエーション、スポーツである。
- ・健康増進、家族の会話の場所。どの世代でもできる。

[問題点・課題]

- ・ジュースを買いたくても買える場所がない。もっと便利さがあればよい。

- ・パークゴルフ場で子ども達が来たら邪魔者扱いするお年寄りがいる。
- ・パークゴルフ発祥コースの格がない。ハク不足
- ・パークゴルフの地元としての成長不足
- ・無料のため他町村の人（団体、温泉など）がツアーを組んで幕別の施設を利用するため、町民が使えないときもある。

[施策・方向性]

- ・パークゴルフの普及（学校の授業・健康増進・医療費の減）
- ・パークゴルフ場の無料も限界がある。（維持管理費の負担、特に町外の人への負担）
- ・大人たちが子ども達の目線に立って対応をする。一緒にプレーするなど。

行財政について

[問題点・課題]

- ・幕別は転入者に対する配慮が足りない。（町の特徴、公共施設の場所がわからない）
- ・幕別は公共看板が少なく、あっても小さくて見づらい。知らない人に説明するのも大変。
- ・新庁舎の建設位置を検討しておくことが必要（賛否両論）
- ・役場職員が自ら汗をかくことが不足
- ・役場職員の資質不足（資質向上が必要）
- ・行政によるコーディネート不足（団体間の調整不足）
- ・職員がイベント行事などに対し協力体制がない。ロイヤルティがない。
- ・総合支所の人員配置の検討

[施策・方向性]

- ・転入者に対し、芸術文化・体育施設なども含めたガイドブックを配布（町勢要覧、観光パンフ、観光物産協会のマップなど配布）
- ・夕張市のようにならないような施策が必要（夕張市を視察。税金の使い道を有効に。無駄使いをしない。）
- ・公共施設での営業行為はやめるべき。
- ・箱物はもう造らず既設の利用度を高める。遊休施設の有効利用（プールなど）
- ・役場はサービス業という意識を持つ。（資質向上。研修機会の充実）

芸術・歴史・伝統文化について

[優位的現況・長所]

- ・幕別には、絵画、彫刻、音楽、文学など様々な芸術家が多い。
- ・忠類地区は合併して芸術の機会が多くなった。
- ・百年記念ホールがつくられてから様々な文化芸術活動が活発になり、利用が多い。住民も喜んでいる。町民芸術劇場の活動だけでなく、子ども達の発表の場でもある。
- ・百年記念ホールでは、おもちゃの病院や、陶芸、茶道、木工など様々な活動がされている。

[問題点・課題]

- ・町内の芸術家が埋もれている。町内外に知られていない。
- ・町民の芸術作品を文化展等で展示するが、1日か2日で展示してすぐに撤収し、見たくても見られない人がいる。1週間くらい展示できないのか。
- ・獅子舞や、豊穰太鼓、ナウマン太鼓など、継承していかなければならないが、若い後継者が育たない。もっと楽しく子ども達ができるよう工夫が必要。

- ・幕別の盆踊りと秋祭りは忠類と比べても出店が少ない。露天商に頼らなくとも、町内の団体等でもっと賑やかにできないか。子どもたちもかわいそうだし、賑わいに欠ける。

[施策・方向性]

- ・芸に長けた人をどんどん呼び、文化、スポーツを身近にする。
- ・歴史的価値のある施設や場所の内容掲示板の設置や保全
- ・ふるさと館、えぞ文化考古館など歴史的資料を1箇所に集約
- ・幕別や忠類に多くの芸術家の活動や展示などをもっと広報等で宣伝して、町内外に知らせるべき。(町民見学会)
- ・芸術家のネットワークづくり。マップなどづくり(そこに行けばこんな芸術が見られる)町内外にPRする。そういうものを住民や子どもたちにも配って自分のまちの誇れる部分を知らせるべき。
- ・鹿追は芸術家を都会から誘致したり、花街道を作ったり、ストリートの民家に助成して、技術作品を展示するよう助成している。幕別は芸術に関してもっと力を入れるべき。

スポーツ・研修体験施設について

[優位的現況・長所]

- ・幕別運動公園は素晴らしい。(芝・野球場)
- ・幕別には民間飛行場がある。(ウルトラライトプレーン飛行場)

[問題点・課題]

- ・幕別町青少年自然の家が充実していないため町外で宿泊学習をしている。(糠内)
- ・子どもの遊び場が少なくなっている。

[施策・方向性]

- ・札内地区の町営南プールの温水化を再度検討してほしい。(大人の利用ができることが知られていないので広報等で周知を)
- ・青少年自然の家があればよい。(空き校舎の転用、その他使用しない公共施設の有効活用)
- ・子どもが自然体験できるキャンプ場の設置(公園や河川敷地は許可がでない)ホテルグランティア付近をもう少し人が呼べる、子どもの学習につなげる児童館や博物館的なものはできないか。(ふるさと館、愛育園跡地の有効活用)
- ・昆虫や爬虫類を展示(ふるさと館やナウマン象記念館の1室、旧道の駅を使っでの展示)

子どもたちとのふれあい・関わりについて

[優位的現況・長所]

- ・札内子ども会でアイスクャンドルのイベントを東コミセンを中心にやった。忠類子ども会にも声をかけた。商店街の人も来年から協力してくれそう。来年は出店など大々的になりそう。こういう子どもとのふれあう機会を増やすことが大事
- ・公区の人達で子ども達を道路で見守っているところがある。これを全体に広げて子どもとふれあう。札内支所からチョッキを借りて着ている。
- ・桂町の子ども会で餅つきを行った。たくさん子どもたちや親や、他の地域からも来ていた。親子のふれあいとしてはとてもいい。たこあげ、カルタ、こま回しをした。

- ・ 札内子ども会で子ども祭りを行うと 900 人くらいくる。忠類にも声かけをした。竹馬、こま回しなど昔の遊びを行ったら結構楽しそうに遊んでいた。他の地域の子どもを連れてくるよう声掛けした。
- ・ 忠類では、昆虫のイベントや、運動会も住民主体で行われている。こういう動きは芽生えてきているので生かすべき。
- ・ 幕別では公区で新年会やお祭りを開催しているところもある。子どもから高齢者まで参加している。これからは、地域で老人クラブを開催したり楽しい行事を開催するのが理想である。

[問題点・課題]

- ・ 最近の子どもはあいさつがないというが、最近は犯罪が凶悪化していて、子どもたちも知らない大人に声をかけられない。

[施策・方向性]

- ・ 大人が子ども達のためにボランティアで見守りなどを行っていることをもっと知らせて誤解のないように。
- ・ 北町で以前にフリーマーケットを住民主体で行った。大人や子どもまで参加して、それぞれの家庭の漬物や、得意な料理なども出していた。子どもたちとのふれあいや教育にもいいので、地域ごとにやってはどうか。駐車場など官庁は積極的に協力すべき。百年記念ホールでやるとプロが来て目的が変わる。
- ・ 地域のイベントや行事に参加する率の高い地域は犯罪が少ないというデータがでている。地域の運動会などでも親も子どもも参加することが必要
- ・ 気軽に子ども達が大人に話しかける体制づくり。普段の交流の場を増やすことが大事
- ・ 読み聞かせボランティア(ブックスタート)も効果がある。親が子どもを抱いて本を読み聞かせる。そうすると学校で授業中落ち着かない行動をしなくなる。
- ・ 地域ぐるみで子どもを育てるまちにしたい。子どもを大事にする町としてアピールできるまちづくりをこの計画に盛り込めたらよい。
- ・ 地域の高齢者がボランティアで見守りをする人、パトロールする人など手分けして地域で子どもに温かい対応をする。

生涯学習全般について

[問題点・課題]

- ・ 百年記念ホール入り口の看板が小さく入りづらい。通り過ぎてしまう。
- ・ 百年記念ホールは毎日使われていないのではないか。利用を高めるためにもホールが空いているときに町民に(バンド練習、音楽サークル)などに貸せないか。

[施策・方向性]

- ・ 関連補助金の削減や生涯学習アドバイザーなどの人的配置を廃止する場合には、関係者とその後の体制を協議しながら進めてほしい。
- ・ 人生学博士の積極的活用。一般のグループにも要請があれば派遣する。住民にどのような博士がいるか、一覧表を提示する。
- ・ 百年記念ホールの空いている部屋の更なる活用(文化協会未加入者にも無料で)
- ・ 高校生から小学生まで、縦割りのグループでの交流事業の展開(キャンプ、体験学習、ブラバン演奏)

学校教育について

[問題点・課題]

- ・児童数生徒数が少ないためにスポーツ、文化的なことが出来ない学校がある。
- ・子どもの教育がよくない。(ボランティアを体験)
- ・サタデースクールを札内、幕別 1 箇所で行っているが、箇所数が少ない。また遠いので行けない人が多い。
- ・札内地区の学区が不均衡

[施策・方向性]

- ・札内地区の学区の見直し(学校に近い遠い。人数割合)
- ・小規模学校の生かし方を考えた方がよい。
- ・統合すればスクールバスを走らすので、安全上道路の整備を。
- ・農業体験などを子どもの授業に多く取り入れては
- ・統合が進めば空き校舎がでてくる。その有効利用を。
- ・幕別に大学を誘致できないか。他にない教科で需要が多いもの(飛行機の修理や組み立ての人材が足りない。その養成学校は就職率 100%)
- ・サタデースクールよりも各近隣センターやコミセン単位の公共施設で子どもも大人も自由に行ける場所。高齢者がいつもいて、子どもたちと遊ぶ場所をつくる。
- ・PTA 活動に父親の参加率を高める。(親父の会の設置。校庭で親子避難生活体験 など)

その他

(1) 子育て・保育所について

- ・フランスのような子育ての政策ができないか。育児休暇も長く、母親も復帰したら給料も役職もそのままという状況。
- ・幕別では、家族経営や中小企業が多く、企業として子育てに手厚い勤務条件は難しい。
- ・保育所の条件を他町村よりも緩和し、子育てしやすい町にしては。(待機者をなくす。第 2 子を妊娠して仕事を休むと第 1 子をすぐに退園させない。共稼ぎでなくとも保育所に入所できる。所得階層別の料金を他町村よりも格安にする。)
- ・保育所と幼稚園、ことばの教室を合体させられないか。(子どもたちには区分は関係ない。皆で交流が大事)

(2) 除排雪について

- ・アンケートを見ても除雪の苦情や要望が多い。この 10 年の計画で何とか満足度を上げる方法はないか。排雪場所の確保。地域での処理。
- ・幕別は川が近いので、その川の水を引き込んで、排水溝を町に通すことはできないか。

(3) 商店街活性化について

- ・秩父では、商店街を活性化するために、メインストリートに並ぶ店は月に 1 度必ず店の前で野外出店する日を設けている。その日は子どもたちも店が閉まる夜遅くまで外にいてもいいということらしい。何か工夫を。
- ・例えば帯広の歩行者天国が成功したように、何か人が呼べるような催しを継続して行わなければならない。
- ・忠類にもおいしい店がある。豆腐・あげや、ラーメン、豚丼など。幕別にもおいしい店がある。蕎麦屋、インカの目覚めのフライドポテト。もっと宣伝を。

- ・ 札内駅前は、人が通らない。駅の利用が少ない。買いたい物の必要性を感じる店が少ない。駐車場も少ない。品数も少ない。後継者がいなく新たな投資もできない。
- ・ 函館で並ぶコンビニ弁当がある。その場で焼き鳥を焼いてご飯にのせるだけ。工夫をして人気のでる店があると相乗効果で周りも利用されるのでは。
- ・ 最近のニーズに合わせた商売への転換が必要。駅前商店街全体をてこ入れするのは難しい。自助努力も必要。
- ・ 老舗でも、昔ながらのおもちゃ屋、駄菓子やでもいい、大型スーパーにない特色があって、行きたくなるような店もいいのでは。